

議会だより発行準備特別委員会会議録

(令和6年10月30日)

愛 南 町 議 会

愛南町議会議会だより発行準備特別委員会会議録

本日の会議 令和6年10月30日(水)

招集場所 議員協議会室

出席委員

委員長 金 繁 典 子
委員 尾 崎 恵 一
委員 吉 田 茂 生

副委員長 少 林 法 子
委員 池 田 栄 次

欠席委員

委員 嘉 喜 山 茂

出席委員外議員

議長 佐々木史仁

傍聴委員外議員

なし

職務のため出席した者

議会事務局長 本 多 幸 雄
係長 山 口 昌

主幹 小 松 一 恵

本日の委員会に付した案件

「議会だよりの発行準備に関する調査研究」

(1) 報告書等について

(2) その他

開 会 9時00分

閉 会 9時18分

○**少林副委員長** それでは定刻になりましたので、議会だより発行準備特別委員会を始めさせていただきます。まず、開会の挨拶、委員長をお願いします。

○**金繁委員長** おはようございます。お忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。今日は嘉喜山委員が欠席の報告をいただいておりますので、定足数に達しておりますので、委員会を始めたいと思います。

それでは、早速なんですけれども、議会だよりの発行準備に関する調査研究、いよいよこの議会だより発行準備特別委員会のまとめを、報告を今度の12月議会ですということ、その報告書のまとめを資料のほうに入れさせていただいております。御覧になっていただいたかと思いますが、これについてまず御意見お願いできますか。

はい。尾崎委員。

○**尾崎委員** はい。これについては昨日、目を通させていただきました。最終ページのまとめのところ、特に内容精査したんですけれども、この内容でいいなと私は感じております。

○**金繁委員長** はい、ありがとうございます。ほかに御意見ないですか。はい、ないようですので、じゃあ、報告は一応これで、現段階ではこれでさせていただきますと思います。この後、今日の委員会もありますし、今日の全協を受けて、また委員会を行うかもしれませんので、その内容もまた追記をしていくということでもよろしく願いいたします。では、2のその他についてなんですけれども、まず、前回話していた業者さんですね、レイアウト等の、について事務局のほうから報告お願いいたします。

はい、局長、お願いします。

○**本多事務局長** はい。業者選定のほうが決まりましたので、御報告をさせていただきます。業者のほうにつきましては、愛南町に指名願いがあある業者の中から競争見積りを行いまして、廣文社印刷に決定をいたしました。

本日をもって契約を締結したいと考えております。以上です。

○**金繁委員長** はい、ありがとうございます。何かありますか。

(発言する者あり)

○**本多事務局長** はい。では、もう一度発表させていただきます。廣文社印刷に決定をいたしました。廣文社印刷さんにつきましては、愛南町の広報を印刷している業者でございます。以上です。

○**金繁委員長** はい、よろしいですか。じゃあ、9月議会でこのレイアウト印刷の予算を計上して取っておりますので、12月議会終わって、廣文社さんと第1回の議会だよりの仕事を一緒にしていくこととなります。それで、皆さんに御相談なんですけれども、12月の議会のときに、この準備委員会を閉じます、と。で、その後に議会だより発行委員会が立ち上がるということなんですけれども、一応、今の段階で、そのときに、12月議会が終わってから、その後の内容についてだけを編集していく、内容にしていくっていうのは、実際厳しいのかなという話をちょうど事務局としていたんですけれども。それで、皆さんのお考えをお聞きしたいんですが、今度、来月に町民との意見交換会がありますよね。で、そういう内容とかもある程度記録をとっておいて、12月の議会だよりの制作の内容に盛り込んでいけたらと思うんですけれども、皆さん、どうでしょうか。

はい。池田委員。

○**池田委員** 第1号を発刊するということですね。で、この体制でやるっていう。

○**金繁委員長** いや、それは、体制はまた別。10時から全協で。あの、体制についてはね、新たに入りたいとおっしゃってくれる方もいらっしゃるかもしれないので、そこでお話する予定です。なので、今、内容について。

○**池田委員** 分かりました。

○**金繁委員長** 本多事務局長。

○**本多事務局長** まず、前回の検討事項の結果のほうから整理をさせていただきたいと思います。前回の委員会の、編集体制につきましては、前回のこの委員会の中で、この準備特別委員会につきましては、あくまでも発行の準備という段階を目的として設置されたものですので、準備をもって終了するというので、第1刊の発行については特に直接関わらないというようなことで、実際の発行につきましては、また新しい委員会を立ち上げてという話になっていたかと思えます。

ただ、先般、委員長とも話をさせてもらった中で、実際創刊号を作るに当たりましては、12月定例議会の内容で作るという話ではあったんですけども、そうすると、12月定例議会後に動き始めたのでは、おそらく間に合わないんじゃないかという話になりました。で、実際、今、先ほど委員長が言われましたように、11月後半にあります議会報告会の内容を含めて作業をするとなると、もう事前に編集作業を進めておかないと難しいかなと思っております。

なので、準備特別委員会という名前ではあるんですけども、ある程度この準備特別委員会の中で作業を進めておいてもらう必要があるのかなということを皆さんに御理解していただきたいということと、また、その後の委員会のことなんですけども、実際の編集委員会のことなんですけども、それについては、この後の全員協議会の中で詳しく決定、メンバー等も、選考もしていただく必要があると思うんですけども、そのメンバー等についても、現実的にはある程度この中のメンバーが加わらないと、ちょっと難しい場面もあるのかなというふうにもちょっと考えておりますので、その辺りについてまた御協議といいますか、御検討いただきたいと思ひまして、今日の会を開かせていただきました。

以上です。

○**金繁委員長** はい、ありがとうございます。はい。いかがでしょうか。内容については。

池田委員。

○**池田委員** ごめんなさい、内容についての前に一言だけちょっと言わせてもらいたい。もう僕、今回で準備委員会降ろさせてもらおうと思っております。うん。その考えだけは、意思だけは皆さんに御承知おきいただきたいと思ひますので、状況は理解しましたので、その今からの準備については検討には加えさせていただきますが、そういう意思があることだけは御承知おきいただきたいと思ひます。

以上です。

○**金繁委員長** はい。池田委員、この後の全協で、はい、その具体的な内容をおっしゃってください。どうですかね。編集の内容についてどうですか。今局長から。

吉田委員。

○**吉田委員** 今日、全協ありますので、全協の中で報告をして、全員で決めてやればいいんじゃないかと思ひます。で、時間的にないんでしょうから、そのメンバーについては、既存でいくのか、新たに入っただけなのか、その辺も全協で全部諮って、できれば今日中に、方向だけはもう全協の中で決めたほうがいいと思ひます。我々、あくまでも準備なんで、そこはそこで一回けじめをつけると。あとは全体が関わっていくと。新人だけではなくて、ベテラン議員も含めて全体で作っていきましょうということで、今日の全協で流したほうがいいんじゃないかなというふうに思ひます。

○**金繁委員長** じゃあ、内容についても。委員だけではなくね。分かりました。

尾崎委員はいかがですか。

○**尾崎委員** はい。私も全く同感です。そのようにしていただきたいと思ひます。

○**金繁委員長** 少林副委員長はどうですか。

○**少林副委員長** もうこの後に、お任せをしたいと思ひます。

○**金繁委員長** はい、分かりました。じゃあ、全協で内容についても、委員についても話し合うということでよろしいですかね。

本多事務局長。

○本多事務局長 ちょっと休憩のほうをお願いいたします。

○金繁委員長 では、休憩に入ります。

(休憩)

○金繁委員長 それでは、休憩前に引き続き、委員会を再開します。

それでは、今、内容についても全協のほうで話し合うという方向になりました。ということで、で、その前、今の報告の中でこのスケジュールを説明して、議員全員の皆さんにあらかじめ準備する必要があるということは御理解いただけるようにしたいと思います。でいいですかね。

ほかに何かありますかね。いいですかね。では、全協のほうでまた報告いたします。よろしくをお願いいたします。お疲れさまでした。ありがとうございました。

委員長